

“安心して出産するために”

「妊婦歯科検診」を受けましょう

最後に歯科受診したのはいつですか？



妊娠中は口内環境が変わるため、歯周病やむし歯が進行しやすいといわれています。

朝来市の妊婦歯科検診の結果より「歯肉からの出血」や「歯石が付いている」妊婦さんがとても多いのが現状です。これを治さず、放置してしまうと「歯周病」は悪化します。

その歯周病が重度になると、治ることは難しく、さらに早産や低体重児出生のリスクが高まります。

お口の健康に不安を感じていない場合でも、安定期に入ったら「朝来市妊婦歯科検診」を受けましょう。同時に、今後のためにもかかりつけ歯科医を持っておきましょう。

すでにかかりつけ歯科医があり、定期的に受診している方は、かかりつけ歯科医と相談しながら健診等継続し、お口の健康を維持してください。

◆ 妊娠中のお口のトラブルを守るヒント ◆

歯をみがく時は、歯ブラシを細かく動かしてみがく

歯をみがきづらい時は、洗口液（ノンアルコール・医薬部外品のもの）を活用してみる

つわりがある時は、小さめの歯ブラシを使ってみる

つわりで吐き気がひどい時は、“前かがみ”の体勢で、歯をみがきやすくする

～ 赤ちゃんの歯・お口の成長も始まっています！ ～

妊娠 7 週頃から歯や味覚などお口の成長が始まります。

口唇を動かしたり、指しゃぶりをしたり、胎内でお口も育っていきます。

そのためにも妊娠中の栄養バランスや生活習慣は大切です。

また、出産後には身近な家族（だ液）を通じて、赤ちゃんのお口の中にむし歯菌が伝播することもあります。

赤ちゃんをむし歯から守るために菌をうつさない工夫の一つとして、家族の方は治療を済ましておくことも重要です。



産後は受診が困難になることが予想されます。
まずは受診し、今のお口の状態を知っておきましょう！